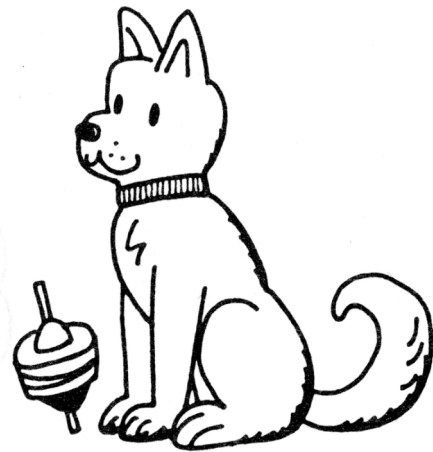


渋谷で待っています！

みなさま、こんにちは。そして、はじめまして！
「第39回東京の学童保育研究集会」実行委員長を務めさせていただきます、渋谷区の宮田と申します。連協結成2年目でこのような“役どころ”、運がいいのか悪いのか…。ここは前向きに考え、チャンスととらえて7月4日の開催にむけ、がんばっております。実行委員会を支えてくれている第3ブロックのメンバーをはじめ他区連絡協議会の大きな力を頼りに、準備をすすめているところです。

渋谷は学童保育を全て廃止し、全児童対策に移行して3年が経ちました。もともと父母会組織がほとんど無い中で、有志が集まり学童保育を無くさないでと区へ交渉を重ねていきました。“学童は今日で終わり。明日からは放課後クラブ”となって、一番とまどったのは親以上に子どもたちだったと思います。いくら毎日通っている「学校」の中とはいえ、今まであったおやつや遊び道具、それになんといっても指導員の先生！全部奪われてしまいました。“学童にもどりたい・・・”“学童がよかった・・・”“放課後クラブには行きたくない”。そんな子どもたちの声がいろいろなところで聞こえました。閉館になり施設された学童館に、子どもの字で「学童館やって」と張り紙がされていました。「放課後クラブ」は指定管理者制度のため、指導員に区の職員は1人もいません。指導員間のなかで学び成長しあうというには程遠い環境です。「放課後クラブ」の指導員さんも、子どもとの信頼関係づくりや放課後をどう楽しく過ごさせるか・・・等、模索し悩んでいる姿に気づきました。学童保育を取り巻く環境は複雑になり、ますます厳しい状況になっているように思えます。今年の都研のスローガンは「ひろげていこう！学童ほいくの大切さ！」です。子どもにとっても親や指導員にとっても、何が大切なのか、いっしょに考えていければ・・・と、思っております。

私たち渋谷区連協はとても小さな組織ですが、みなさんと“パワー”を分かち合いたいと思います。7月4日は、ぜひ渋谷に来てください！お待ちしております！



第39回東京の学童保育研究集会
実行委員長 宮田美和
(渋谷区連協/事務局長)

第39回 東京の学童保育研究集会 @渋谷

ひろげていこう！学童ほいくの大切さ～子どもも 親も 指導員も 笑顔輝く学童保育～

見どころ・聴きどころ・語りどころのご紹介

皆さん、こんにちは。東京の学童保育研究集会事務局から、第39回渋谷集会へのお誘いです。たくさんの父母・指導員に参加していただいて、「元気」のキャッチボールをしたいと思っています。よろしくをお願いします。

【日時】2010年7月4日(日)9:30～16:00

【場所】東京都立 青山高等学校

全体会の一押し！「記念講演」

講師は、日本の学童ほいく誌4月号に特集に寄稿していただいたばかりの浅井春夫さん。

講演テーマは「ヨカッタさがしの子育て論と学童保育のかがやき」です。

聴いていただければ、きっと皆さんの心にも「ロウソク」の柔らかな灯りがともります。



Gakudou Hoiku

ひろげていこう！
学童ほいくの大切さ

～子どもも 親も 指導員も 笑顔輝く学童保育～

全体会のもう一つのおススメは…、

「代官山キッズピクス」の子どもたちによるチアリーディング。子どもたちのパワーが、参加者みんなを元気にしてくれることでしょう。

都研集会のメインイベントは、なんといっても午後の分科会での各区の交流です。今年も、事務局会議・実行委員会で論議を繰り返し、準備を進めてきました。分科会に参加して学童保育を必要としている子どもたちや父母、それを支える指導員の声に耳を傾け、みんなで語り合いましょう。(分科会の一部を紹介します)

詳しくは、リーフレットをご覧ください。

都研は初めてという父母・指導員に…

- 第1分科会 入門講座「ようこそ学童保育へ」
- 第2分科会 A:交流「学童保育の子どもたち」
- 第8分科会 交流「子育てを語ろう」

全児童対策事業との違いも含めて、学童保育をめぐり情勢・状況を学ぼう

- 第5分科会 「東京の学童保育は今」
- ・講座「学童保育をめぐり情勢」
- ・交流 A 「全児童対策事業と学童保育」

学童保育の良さを語り合い、みんなで渋谷を応援しよう！

第9分科会 特別分科会講座&交流 子どもたちが生き生きと過ごせる放課後を

各区のニュース 台東区から

東京の学童保育を充実させる連絡会主催 運動交流会

「障害のある子どもの 学童保育での生活を考えよう！」に 参加して

2月24日(水)、文京区のシビックセンターで開かれた、「東京の学童保育を充実させる連絡会」の交流会に参加してきました。テーマは、「障害のある子どもの学童保育での生活を考えよう！」でした。文京区や西東京市の施策について説明がありましたが、指導員の方々が、非常に熱心に障がい児の保育について考え、取り組んでいらっしゃる様子が印象的でした。

台東区では、2009年7月から、障がい児の学童受け入れ学年延長のモデルケースが始まり、また、障がい児の放課後対策として、千束保健福祉センターでの受け入れ事業(つばさ放課後クラブ)がスタートしています。障がい児の放課後を充実させるために、保護者も行政も受け入れ側の事業者も、取り組みを始めたばかりで、問題点は多々あります。他区は、こんな時どうしているのだろう?どんな解決策があるのだろう?他での取り組みを知る事は、台東区での問題を解決するための、大きなヒントになります。また、小学校時代の放課後が無事に過ごせたとしても、その先には、中学校での放課後、高校での放課後をどうするか、といった課題があります。この点については、他区市の指導員・保護者の皆さんも、同じような問題意識を持っていらっしゃる事が分かりました。

台東区で始まった取り組みを充実させていくためにも、こういった交流会に今後も積極的に参加して、情報収集をしていきたいと思っています。

区連協役員 浅草橋こどもクラブ保護者 長谷川

台東区連協2010年3月12日発行「たいとうの学童ほいくVOL.57 2009年度 10」より転載



各区のニュース 文京区から

文京区の子育て支援計画(最終案)がまとまりました

計画の適切な進捗を見守ろう!

文京区では、今年度、子育てに関する施策を総合的・横断的に定める「子育て支援計画」の改訂を行いました(計画期間:平成22~26年度)。区連協からは、この検討を行う「地域福祉推進協議会子ども部会」へ、部会員として事務局長が参加してきました。去る1月28日には最後の子ども部会が行われ、この計画の「最終案」がまとめられました。今後は地域福祉推進協議会へ報告され、正式な計画としての手続きがとられます。

この計画は、今後5年間の具体的な保育事業の目標事業量等が定められた重要な計画です。育成室・児童館をよく知る区民として、一人ひとりに関心をもつていただき、計画がきちんと推進されていくよう見守っていただきますよう、よろしく願います。くり返しになりますが、育成室・児童館関連で区連協の運動に特に関係の深いポイントを2点お示しします。



ポイント1:「(仮称)放課後全児童向け事業」と「児童館」の関係

「現在行われている放課後事業の整理を行い、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所として、可能な学校から放課後全児童向け事業を順次実施する」「この事業の実施状況等を踏まえ、児童館のあり方を検討する」という目標が示されました。今後の児童館のあり方が問われる内容となっています。この新事業と児童館との役割の違いや、子どもたちにとっての児童館の大切さをきちんと伝えていく必要があります。

ポイント2:「育成室 = 5年間で5室増」

新年度の入室希望も大変厳しい状況で、早急な増設が必要とされる中、目標数が具体的に示されました。また新しい育成室が、従来からある育成室と同水準で運営されるよう、これまでの文京の学童保育の到達点や大切にしてきたことを再度皆で振り返る必要があります。

区連協事務局長 福原琢也

文京区連協 2010年2月19日発行「文京のがくどうほいく」2009年度 9より転載

子ども課長との懇談を行いました

2月19日(金)19時半~21時、長崎第二児童館学童クラブ、目白児童館学童クラブ、巣鴨小スキップ学童クラブ、椎名町小スキップ学童クラブの保護者が参加し、川地子ども課長との懇談を行いました。昨年11月13日に行った予算要望に対する文書回答が12月28日に届いたことを受けて、その回答についてさらに意見交換を行いました。

冒頭、今後5年間の「としま子どもプラン素案」に学童保育が豊島区の子ども施策として位置づけられていないことについて、パブリックコメントを募集した結果どうなったかを尋ねたところ、課長より「パブリックコメントを受けて、『保育サービスの充実』の中に追加記載した」との回答を得ることができました。これは学童保育連絡協議会として現役・OBに広く呼びかけて昨夏より検討委員会に働きかけた大きな成果でした。ともに喜びあいましょう！

障害のある中高生の放課後・・・現在アフタースクールの会が使っている場所は庁舎建替えになるので、椎名町の身障センターに移る。

保育時間の延長・・・スキップの開設時間は校庭開放の時間と連動しているが、長崎小学校は年間を通して6時に、また今まで冬時間が4時半だったところも原則5時にした。東京都が“都型学童クラブ”という考え方の中で、保育時間の延長をしていく考えを出しているが、それは新しい民間施設の設置を促すもので、ワークライフバランスを進めることが先であると考えます。私立保育園の夜間学童保育には保育園に対する補助金を出している。実施していることの分析と課題をまとめる必要がある。

非常勤指導員の確保・・・落ち着いてきたとはいえ、離職率がまだ高い。5年以上経験者を対象として新たに学童指導専門員を創設し、選考により一定の人数を確保して、賃金を高めに設定することで報いたい。職員の獲得と質を上げる、条件を良くしたい。

学校との連絡体制・・・定例ではないがケース会議を行い、いくらか改善できた。

学童クラブ室の狭隘・・・隣接型の西巣鴨小スキップは耐震工事の間使っていた学校内の多目的室を4月以降は学校とタイムシェアリングして、第二学童クラブ室として使うので、障害児の学童クラブへの保護者の送迎の問題は西巣鴨については一定改善される。

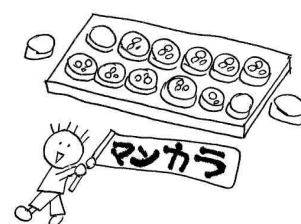
おやつ全員4時台実施・・・できるところから試行してみないと、全体での実施は今のところできない。

その他、既設の椎名町小スキップの問題や、これから建て替えになり目白小学校内に入る目白児童館学童クラブの問題についてや、長崎第二児童館の中高校生センター開設に向けた諸問題についても意見交換を行いました。

豊島区連協 2010年3月27日発行「としま区連協ニュース」より転載

『マンカラ』普及へのご協力、ありがとうございます！

2010年5月5日(水・祝)フリーマーケット出店時(代々木公園)のマンカラ遊びの紹介は、子どもたちに大好評でした。今後も各区で、また「都研集会」「指導員研修会」「指導員学校」「全国研究集会」などなどで、どんどん広げていきたいと思っています。
まだまだ、つくります。みなさんのご協力をお願いします。



児童青少年課との懇談報告

2010年1月19日(火) 荒川区役所にて

各学童クラブから寄せられたご意見をもとに要望書を作成し、荒川区児童青少年課へ提出。要望書の回答を中心に、下記の通り意見交換を行いました。

1. 在籍児童数に見合った適切な人数の専任指導員を常時、複数配置について
職員配置は受け入れ人数に合わせた基準の人員を配置しております。平成22年度も同様に23箇所の学童クラブに適正な人数配置を行います。
2. 受け入れ人数に見合った施設の整備、増床、増設。定員超過学童解消の為、必要な増設の検討を
施設整備については引き続き行っていきます。その中でも学校内学童に対しては、学校と協力して必要な教室の確保等行っていきます。
3. 運営形態に関わらず保育内容の平等性の確保を
運営形態の違いについては地域の担当係長が随時相談、指導も行っていきます。
また、区としても研修を行って、保育内容の平等性を図れるようにしております。
4. 指定管理者制度に基づく業者選定に当たっては利用者の意見の反映願う
ふれあい館については、地域振興の区民課が管轄しており、担当が違い【指定管理と区議会で決めたこと】ですが、利用者の意見の反映、要望は聞いていきます。
5. 今後もひろば館配置見直しに関しての方向性を利用者いち早く周知してほしい
区民生活、地域振興課の報告では、平成20年度のふれあいニュープランに基づいて、できるだけ早くお知らせしていくようにします。
6. 通室、帰宅時の安全確保のためのシルバー人材センターによる見守りの継続
継続して行っていく予定です。ただ人数に関しては今後も増員の予定はありません。
7. 障がい児童の6年生までの延長保育について
通常の学童についての定員を超えて受け入れている状態ですので、その案件毎に相談に応じて延長が継続か否かは決めさせてもらいたい。その上で特例として受け入れていく方向で考えています。
8. 学校内学童に、にこにこすくーるを併設する場合、それぞれの設置目的を明確にしてほしい
平成22年度について、六日、尾久、汐入東で導入されていくが、にこにこすくーるも必要だし、学童クラブも必要ということは認識はしている。当分の間は色々な形での学童クラブとにこにこすくーるのあり方を模索していきます。区としては、保護者の就労形態によらず児童を見守りたい。そのためににこにこすくーるは今後も設置していく。当分の間は、現状の形を崩さずに、学童クラブは維持します。
9. 区直営の学童が減少の中、全体の質の保証の為、各地区に直営学童を配置する事を要望
現時点では、ふれあい館は指定管理なので、その中に直営の学童クラブを設置することは無理。従って(仮称)尾久ふれあい館内の学童クラブは、指定管理者に業務委託をします。区内の学童クラブに関しては運営形態に関わらず区が責任を持って質を落とさないようにしていきます。

尾久西小学童父母会からの要望書

平成22年度4月から2年間 尾久西小学童クラブでの定員増員

今年度は申し込み人数に余裕があったので60人定員で運営するが、平成23年度の学童クラブの申込状況に応じて必要があれば検討する。

平成24年4月開設の尾久ふれあい館内の尾久学童クラブの区直営運営

尾久地域担当の学童クラブを管理する係長を配置することで管理する。

今後、ふれあい館の増加に伴って、各地域毎に係長を配置することになる。




指導員、父母のみなさん、連休はいかが過ごしましたか！？

『日本の学童ほいく』をよろしくネ！

入学、進級して早1ヵ月。あわただしい4月でしたが、連休になってホッと息つけた方もいらっしゃるのでは。連休中ではありませんが、地区(町会)のバスツアーの企画で千葉県のF海岸まで潮干狩りに行ってきました。なんとそんなところで都連協の会議などでよく(?)あう人と偶然に2人にも会ってしまいました。世間は狭いもので・・・ある意味ドキドキでしたが。

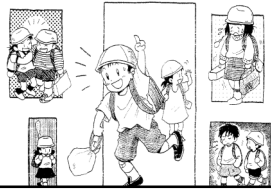
しかし、『日本の学童ほいく』誌は内容も盛りだくさんで、学童保育観(認識)を広げてくれます。狭くありませんよ。いろんなワクワクドキドキがある『学童ほいく』誌の読みひろめをすすめましょう。ほいく誌は1冊330円(税込)。地域の連絡協議会・父母連までお尋ねください。東京都連協へ直接お申し込みの場合、年間購読料は4,800円(送料込み)でお届けします。

【2010年 6月号の紹介】

<p>日本の 学童ほいく 2010年6月号・No. 418 6月号</p> <p>★ずいそう 衣類害虫に注意 阿部純子 4</p> <p>特集 学童保育指導員—役割と仕事を考える</p> <p>子どもたちの願いを受けとめて 先崎 隆 6 グチも出しあい学びあい —支えあう指導員仲間 合田瑞穂 11</p> <p>保護者の思いを知ること 松野聖子 16 子どもと一緒に成長できた私 —指導員との関わりを振り返って 東海林智公子 18</p> <p>親子にとって かけがえのない存在に 藤田愛一 21 学童保育の役割と指導員の仕事 全国学童保育連絡協議会 26 —保護者の方もぜひ関心をもち、ともに考えてみませんか</p> <p>子どもを深く理解するために① 茂木俊彦 74</p> <p>★講座……(連載) 子どもの尊厳の発見・支えあう暮らしの創造 第3回 子どもの「疲れとストレス」を通してみる学校生活の姿容 —〈子どもの「学力」〉をとらえる「まなざし」 増山 均 54</p>	<p>・たのしいな 新聞ホッケー 静岡県掛川市/ひまわりクラブ 31</p> <p>・岸本さんのカメラでこんにちは 神奈川県海老名市=学童保育とまクラブ 32</p> <p>◆子どもクイズらんど いのうえ ひいる 37 ◆どうして どうして? 38 ◆子どものひろば — 40 ◆まんが「学童ふいふい」 — RANKO 44</p> <p>・読者のひろば — 45 ・第46回全国学童保育研究会まであと5ヵ月 49 ・私のおすすめ この絵本『いちねんせい』 51</p>  <p>・知ってビックリ、動物たちの姿 ゲンジボタル 東京都多摩動物公園・杉田 務 53</p> <p>・教室の子どもたち 「なりたいなりたい 何になりたい?」 伊藤和実 60</p> <p>・出会い集い父母会 みんなの意見をまとめ、よりよい学童保育をめざして 木内宏昌 62</p> <p>・仕事・職場のいま 楽しく生涯“百姓”を続けていきたい 深村哲也 64</p> <p>・わたしは指導員 いろんなことがあってもいい、そのことを糧にして…… 岩崎純子 67</p> <p>・実践ノート 自らの思いを言葉にすること① 行谷麻喜 70</p> <p>・ねっとわーく 滋賀県東近江市/大阪府/長崎市/ほか 79</p> <p>・協議会だより 82</p> <p>表紙のテーマ「6月のかくれんぼ」 ●次号予告・編集後記 ●とびら=大森きょうか(一年) 84</p> <p><small>表紙=前田啓輔 写真=岸本正彦 原・特集イラスト=藤田瑞穂/伊トリーコ イラスト=せきしげむ/オーバース/アステアコウの/らとらるる/鈴木泰織</small></p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

お待たせしました！堂々完成！！
シリーズ「みんなで楽しむ学童ほいく」最新刊のご案内

「ただいまー」
～学童保育の役割～



12 ただいま -
～学童保育の役割～
200円

「おかえりー」
～指導員の専門性と役割・仕事～



13 おかえりー
～指導員の専門性と
役割・仕事～ 300円

専従後記 その33 フリーマーケット出店

当日までの取り組みとしてはむしろ遅いスタートのフリマ出店、どこまでできるか半信半疑でした。事務所では提供品が増え、マンカラ作業日には、膨大な材料が、いつ申し込みがあっても大丈夫な在庫へ変身しました。

フリマ当日には、各地域から大勢の方々が提供品を持って、売り子として集まってくださいました。たったこれだけのご報告ではもったいない。フリマ詳細はどなたかに寄稿をお願いしましょう。でも、まずは、様々な形でフリマ出店へ取り組んでくださった皆さん、どうもありがとうございました。

東京都連協 専従職員 菅井憲子